

## H21-P6 安全で快適な歩行空間を確保する道路整備

### 京都市の課題

高齢者や身体に障害のある人等、だれもが安全・快適に通行できる道路空間の整備が求められている。

### 対 策

駅周辺の道路の歩道において、「段差解消」や「幅員の確保」等の「バリアフリー化」を推進し、また無電柱化事業により歩道幅員を確保することで、すべての人々が「快適に移動できる歩行空間」を構築します。

・死傷事故の発生割合が高い箇所において、集中的な交通事故抑止対策を実施し、「安全な道路交通環境」を構築します。

### 成 果 目 標

現況(平成21年度当初)→中間目標(平成23年度末)→目標(平成25年度末)

・重点対策箇所における死傷事故削減率

0%(現況) → 1%(中間目標) → 28%(目標)

・市民生活実感調査の「歩道の電柱や段差がなくなるなど快適になった」に対する回答のうち、満足度を示す割合

18.3% → 18.8%(中間目標) → 21.9%(目標)

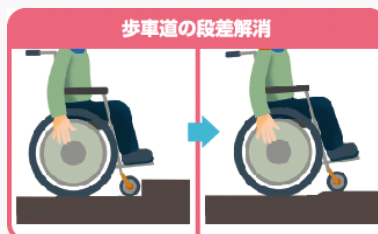
### 事業が完成すると？

- ・すべての人にとって道路の利便性が向上。
- ・災害時の避難場所までの誘導経路の確保。
- ・ゆとりある歩道の実現  
等の効果が期待されます。

更にこんな効果が

- ・公共交通機関の利用促進
- ・人が主役の魅力あるまちづくりの創出

バリアフリー化事業の  
完成イメージ等



### 主な事業箇所

